

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州子どもカフェ「なんでも体験わくわく隊」人材育成事業
事業主体 (連絡先)	社会福祉法人 大桑村社会福祉協議会 (0264-55-3755)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	389,572円(うち支援金:309,000円)

事業内容

①おもちゃインストラクター養成講座の開催

令和元年9月21日(土)～22日(日)須原地区館にて開催した講座に30名の子育て世代の親、子育て支援に関心のある村民等が参加した。講師には東京おもちゃ美術館岡田徹也を招聘し、手作りおもちゃの作り方や遊び方を学ぶ2日間の体験型カリキュラムを受講することで、「遊びの支援」が展開できる人材育成を行った。

②「なんでも体験わくわく隊」クリスマス会の計画

①の受講者が中心となって、令和元年10月29日(火)、にクリスマス会の打合せ会議を行った。2グループにわかかれておもちゃ遊びの企画立案を行った。打合せで必要な材料を洗い出し、12月2日(月)にはそれらを持ち寄ってリハーサルを行った。

③「なんでも体験わくわく隊」クリスマス会の開催

令和元年12月21日(土)須原地区館にてクリスマス会を開催した。児童42名に対して、「おもちゃインストラクター」としておもちゃ遊びを支援する活動を行った。

事業効果

①本事業により、大桑村におもちゃインストラクターが30名育成され、わくわく隊に携わる担い手の組織化に繋がった。

②組織化されたボランティアグループを中心として実施されたクリスマス会の反省会を1月16日に開催した。活動のふりかえりを行うとともに、来年度に向けてわくわく隊の事業計画を策定した。メンバーの特技やアイデア、地域の社会資源を生かしたプログラムが計画され、信州子どもカフェの継続的な活動に繋がった。

③予定を上回る効果の一つに、グループメンバーを講師として「水引の会」が自主的に結成され、水引細工づくりを学習する生涯学習にも発展している。

今後の取り組み

本事業では、子育て支援に関わる人材育成をテーマとして実施した。当面は、なんでも体験わくわく隊のボランティアグループとしての活動を想定しているが、活動に合わせて子育て支援に使用するおもちゃ等の備品購入が必要になることが見込まれる。また、子育てやおもちゃ遊びについて広く住民に周知していくためのイベントの企画を今後の課題として検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【おもちゃインストラクター養成講座】



【クリスマス会当日】



【目標・ねらい】

- ①わくわく隊の担い手の組織化
- ②担い手による継続的な活動展開
- ③「水引の会」の結成

※自己評価【B】

【理由】

受講者のなかで自主的な子育て支援の活動に繋がっている。特に子育て世代の若年層と地域の担い手でもある高齢者層と一緒に活動する機会となっている。